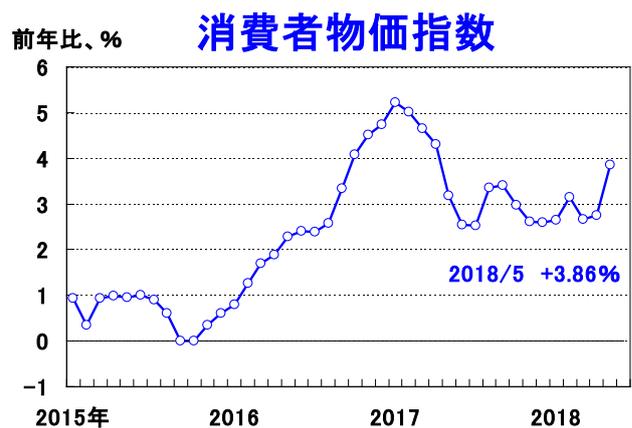
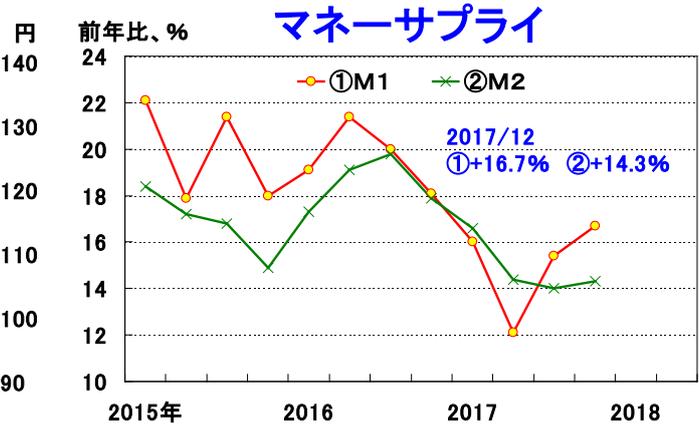
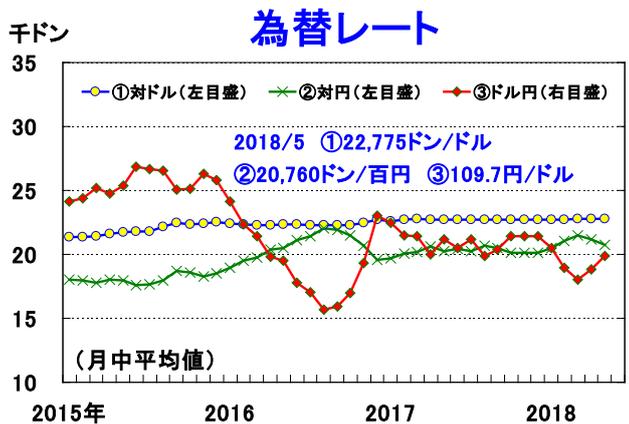
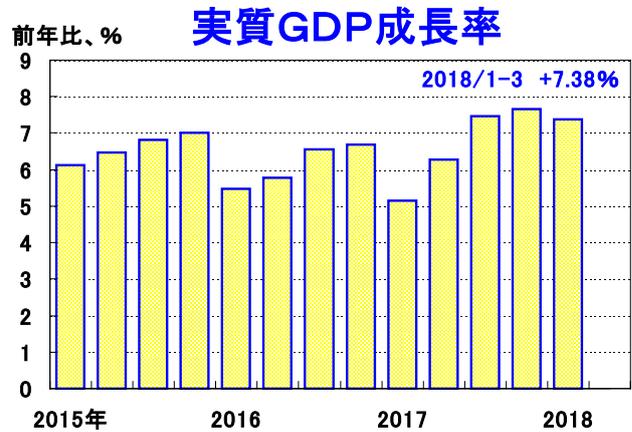
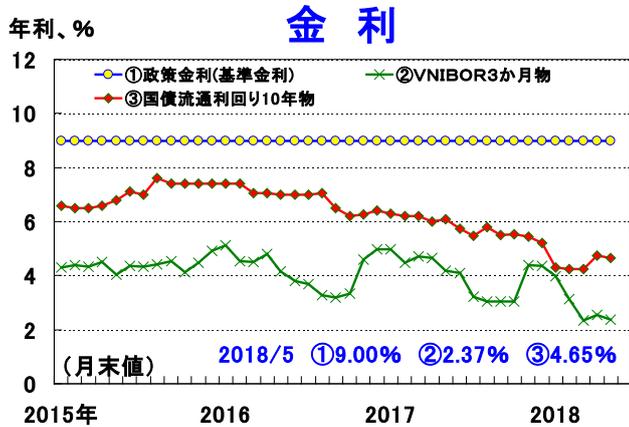


グラフで見るベトナム経済 2018年6月号(No. 101)

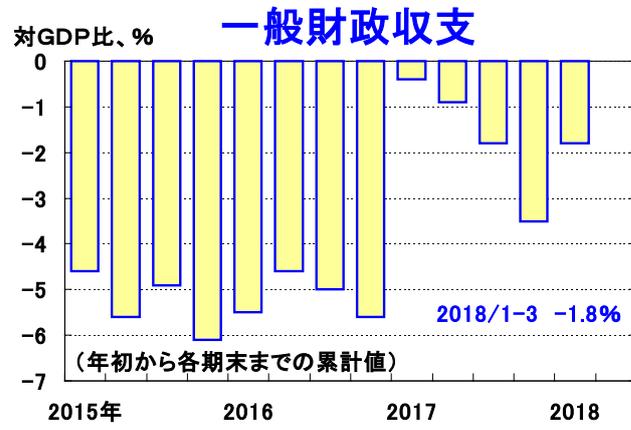
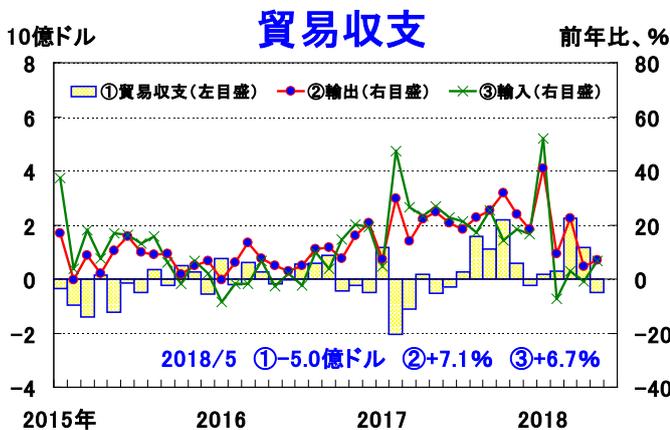
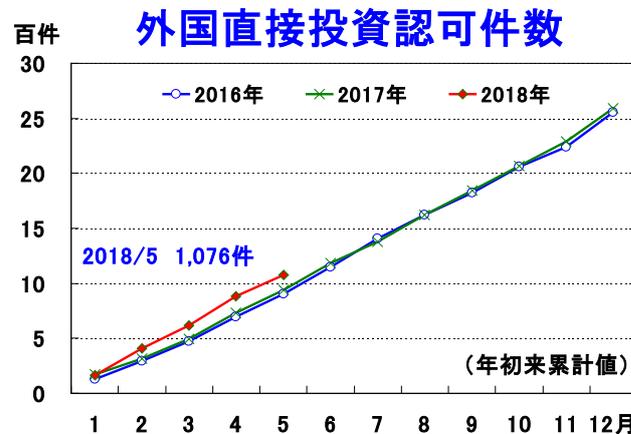
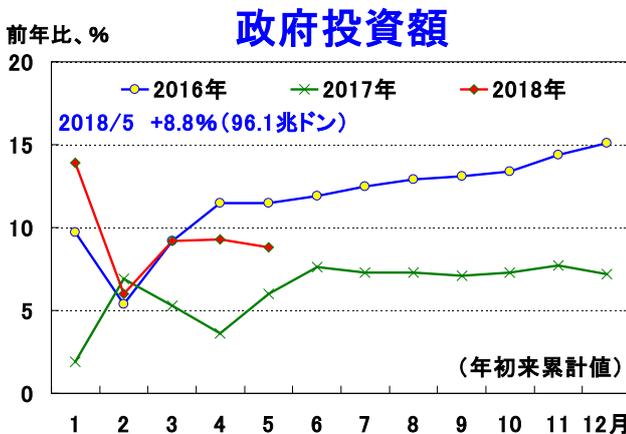
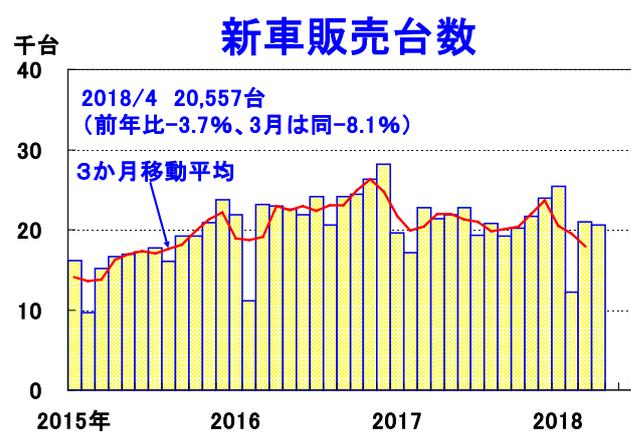
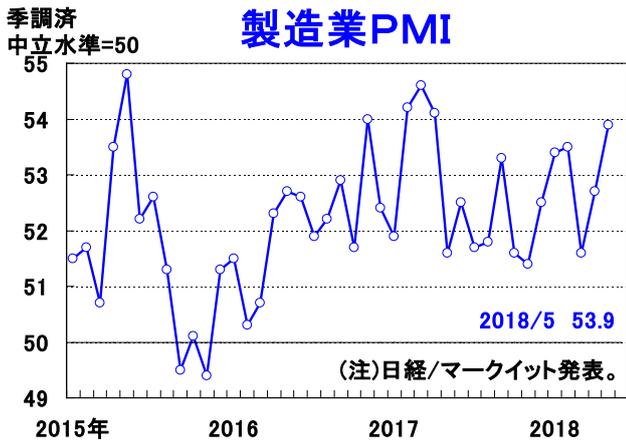
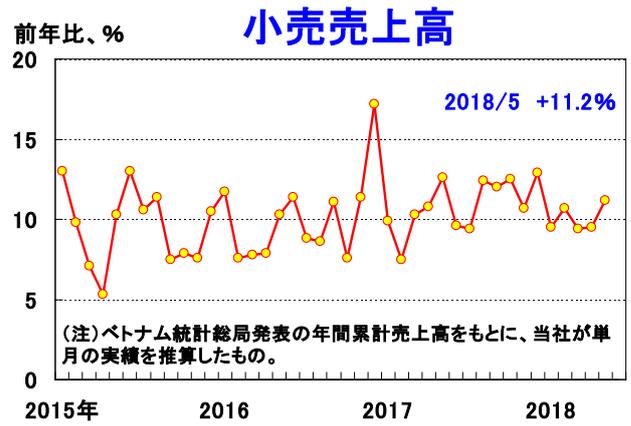
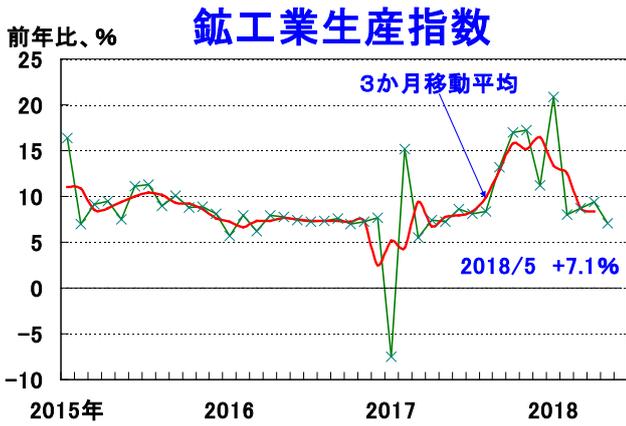
ベトナム景気は総じて回復基調にある。企業部門に関しては、5月の鉱工業生産が前年比+7.1%と減速したものの、同月の輸出は同+7.1%と前月の伸び(同+4.7%)を上回った。また、同月の製造業PMIは53.9(中立水準は50)と、13か月ぶりの高水準となった。内訳をみると、「生産」が6か月連続で上昇し、「新規受注」も14か月ぶりの高水準を記録した。次に、家計部門をみると、4月の新車販売台数が前年比-3.7%と3か月連続で減少したものの、5月の小売売上高は同+11.2%(前月は同+9.5%)と5か月ぶりの高い伸びとなった。



【今月のトピック: 2020年までに上場企業は国際財務報告基準へ移行】 現在、ベトナム企業の会計処理にはベトナム会計基準(VAS、Vietnamese Accounting Standards)が適用されている。日本の国際協力機構とベトナム財務省の合同セミナーの席上、ベトナム財務省の関係者は、段階的にベトナム会計基準から国際財務報告基準(IFRS、International Financial Reporting Standards)へ移行する方針を表明した。上場企業に関しては、2020年までに全企業をIFRSに移行させる計画である。VASからIFRSへの移行によって会計制度への信頼性が高まり、ベトナムへの直接投資が促進される効果が期待される。

(出所) ベトナム国家銀行(SBV)、ベトナム統計総局(GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。